



【目指す児童像】
考える子 健康な子
親切な子 がんばる子

いずみ

2024.7.19
ひたちなか市立
中根小学校
学校だより No. 8



児童数 (1年生:52名 2年生:57名 3年生:44名 4年生:54名 5年生:62名 6年生:42名) 計311名

子ども政策課をお招きして授業を行いました

7月2日(火)に第6学年社会科の授業において、市子ども政策課からお二人の職員においでいただき、ひたちなか市における子育て支援政策についてお話をいただきました(子ども政策課は子育て支援と児童手当の大きく2つの業務を担当しています)。この学習は、「子育て支援の願いを実現する政治」の学習の一環として、児童の学びを深め、暮らしと政治のつながりについて考えることができる児童を育成することをねらいとして行われました。

お話の中で、ひたちなか市子育て支援・多世代交流施設「ふぁみりこらぼ」が取り上げられました。「ふぁみりこらぼ」は、市民からの声「市の真ん中に子育て施設があったらいいな」を実現するため、既存の民間施設を購入し、リニューアルすることで、市民の税金をなるべく使わず、できるだけ低い予算でつくった施設です。また、「ふぁみりこらぼ」の名称は市民からの募集で決まったことや、市民からの「施設の中に、音楽の練習ができるよう部屋やピアノが欲しい」「ダンスの練習ができるよう大きな鏡がある部屋が欲しい」の声に応じて施設内の部屋を整えていったことなどの説明がありました。

質疑応答の時間は、児童からのあまりにも多くの質問に職員の方が大変驚かれていました。児童は列になって二人の職員に順番に質問をしていました。児童からは、保育園や幼稚園を増やすことについて、ミルク代やおむつ代について、悩みごとの相談はどうすればよいか、などの質問があり、職員の方々はそのひとつひとつに丁寧に答えてくださいました。授業後には、「子どもたちのキラキラした瞳に圧倒されました」「こちらが予想しない質問もたくさん出てきてとてもびっくりしました」などのお話をいただきました。



高学年の「朝ご本」が行われました



7月4日(木)に高学年の「朝ご本」が行われました。「朝ご本」はPTA学年委員・教養委員による読み聞かせ活動です。読み聞かせの効果として、「子どもの心が安定する」「想像力が育まれる」「言語能力が向上する」「感情表現が豊かになる」「集中力がアップする」ことがあげられます。

児童の様子を見ると、お母さんの落ち着いた声に真剣に耳を傾け、絵本に見入っているクラス、アニメキャラクターの着ぐるみに身を包んだお母さんによる楽しい読み聞かせで盛り上がっているクラス、などさまざまな「朝ご本」の形がありました。児童もそれぞれの形の「朝ご本」を楽しんでいました。

6年生が校舎内を美術館にしてくれました!

6年生の図画工作科の「ここからみると」の授業で、場所や空間などの特徴を生かした作品づくりを行いました。授業を通して改めて校舎内を見回してみると、中根小学校には面白い場所がたくさんありました。「見る人がおどろいたり、楽しんだりできる作品を作ろう」のテーマのもと、見る人の気持ちを想像しながら、夢中で作品作りを楽しんだ6年生です。授業終了後には、校舎内のあちこちにアイデアあふれる楽しい作品が登場しました。もちろん、下級生も大喜びで鑑賞していました。図工の作品を通して、校舎内のさまざまな場所で中根っ子同士の温かい心の交流が生まれた時間でした。

